



小林 立栄 議員 (無党派)

一問一答方式

その他の質問

- 国際交流の推進について

る。提案について検討していききたい。

西郷菊次郎・伊能嘉矩と同じく、明治28年に台湾に渡り、台湾総督府で働き、その後、台北市の隣の宜蘭市で初代長官として活躍。

# シティープロモーションの推進を

問.....

遠野の魅力を磨き、遠野の価値を高め、遠野を売り込むプロモーション(営業活動)を専念して担当する人、組織が必要ではないか。

答.....

各関係機関が有機的な連携を図りながら総合力で取り組む中で、遠野の魅力を知り、遠野の魅力を発信する取り組みであるプロモーション

シヨンは大事である。専門的なノウハウを持った部署や窓口の設置など、オール遠野として取り組める仕組みを、経営改革や行政改革の中で具体的な形に持っていく。

問.....

伊能嘉矩生誕150年を記念する事業で、伊能嘉矩と同時代を生きた熊本県菊池市に縁のある西郷菊次郎を記念で紹介したり、菊池市と鹿児島県竜郷町(菊次郎の生誕地。菊池市の友好都市)の物産展を開催して、菊池市の復興を支援してはどうか。

答.....

人と人が繋がり、地域と地域の絆がネットワークとなり、地域の活性化となる。台湾での伊能嘉矩と西郷菊次郎の接点には物語性があり、大きな情報発信、プロモーションにもなる。

# 心のバリアフリー教育について

問.....

誰もが互いに個性を尊重し合う「共生社会」の実現に向けて、支え合いの意識を醸成する「心のバリアフリー」が重要視されている。高齢者や障がい者の疑似体験・介助体験、障がいのある芸術家やスポーツ選手を講師に招くなど、心のバリアフリー教育を推進してはどうか。

答.....

特別活動や総合的な学習での「キヤップハンディ体験」、特別支援学校との交流活動を実施している。障がいのある芸術家やスポーツ選手の体験型学習に参加する価値は、非常に高く有効である。パラリンピックや国体の障がい者競技、体験の機会となるような情報提供をして、様々な場面での体験を通じた心のバリアフリーを育てていくことは大切である。



ユニバーサルスポーツの体験 (遠野グローバルプラザにて)

# 学校行事やプールでの安全対策について

問.....

学校での組み体操は運動会の花形とも言えるもので、多くの学校で行われる一方で、事故が発生し、社会問題化する事態となっている。アクロバティックな組み体操に対する教育長の見解を伺う。また、全国的に学校プールでの事故が発生しているが安全対策は充分か。

答.....

組み体操については、全国で毎年8千件を超える事故が発生しており、文部科学省では本年3月25日付で都道府県教育委員会を通じて、組み体操を実施する場合には事故防止の徹底につとめ、確実に安全な状態で実施できるかどうか確認し、できないと判断される場合は実施を見合わせるなどの通知がなされた。市教育委員会として

も具体的な事故の事例や、事故になりやすい技などの情報については周知徹底をはかっている。

プールの安全対策については、文部科学省・国土交通省の『プールの安全指針』及び『水泳指導の手引き』を基に、適切な指導や対策を全教職員へ徹底している。



小松 大成 議員 (無党派)

一括質問方式



8月に落成した遠野西中学校のプール

# 小中学校教員の多忙化について

問.....

教員の多忙化の問題が国会で取り上げられ、その実態に驚愕した。原因として部活動の指導が教員の多忙化や長時間勤務の要因となっており、特に中学校・高校の運動部における長時間のクラブ活動は子供の心身の発達にも決して好ましくはない

答.....

平成27年度の教職員一人に係わる1ヶ月あたりの時間外勤務は、小学校については約25時間、中学校については約56時間となっている。中学校の教職員の時間外勤務がとりわけ多いのは土日に行われた部活動の指導に関する時間が含まれている事。市教育委員会としても、生徒の多様な体験の充実、家庭学習との両立、健全な成長の促進の観点から、また、教職員の多忙化解消の取り組みとしても部活動の適正化に取り組んでいかなければと考えている。